

教科・種目名 数学

| 採択基準                           | 基本観点                                    | 発行者名   |  |  |
|--------------------------------|---|--|--|--|
|                                |   | 2 東書   | 4 大日本  | 11 学図  |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1)全体としての特徴や創意工夫<br><br>別表1             | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「学びをひろげよう」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「活動」、「例」、「Q」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「活用・探究」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「深めよう」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。     | (1)基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮<br><br>別表2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに関連するものを示し系統的に学習できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年0章で算数と数学をつなげられるよう工夫している。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充の問題を取り上げている。</li> <li>学習の区切りで学びの振り返りができるよう工夫されている。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに関連するものを示し系統的に学習できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年に算数の振り返りページを設けている。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>学習の区切りで学びの振り返りができるよう工夫されている。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに関連するものを示し系統的に学習できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年に算数の振り返りページを設けている。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>「○章を学んで」で学びの確認ができるよう工夫されている。</li> </ul>         |

| 発行者名   |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研  | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「Q」、「例」、「たしかめ」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「学んだことを活用しよう」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「ひろげよう」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「学びをいかそう」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「探究ノート」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域とも興味関心を高めるための工夫や既習内容を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。</li> <li>「Q」、「例」、「問」や節末、章末、巻末の問題などで繰り返し学習できるよう工夫している。</li> <li>「とりくんでみよう」等で自分の考えを説明したり、伝え合う学習ができるよう工夫している。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに関連するものを示し系統的に学習できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>「算数から数学へ」で振り返りができるよう工夫している。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>章末の「学習のまとめ」で、振り返りができるよう工夫されている。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>予習やサポートのために「ふりかえり」のページや側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年に算数の振り返りページを設けている。</li> <li>項末や章末だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>章末問題を基礎と応用の2部構成にして定着を図れるよう工夫している。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>章冒頭で既習事項を確認できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年に算数の振り返りページを設けている。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>節末などで振り返るページを示し、振り返りができるよう工夫している。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに関連するものを示し系統的に学習できるようにしたり、側注に確認欄を設けている。</li> <li>1年に算数の振り返りページを設けている。</li> <li>節末、章末の問題だけでなく、巻末に補充問題を取り上げている。</li> <li>章末の「○章の問題」で振り返りができるよう工夫されている。</li> </ul>            |

| 採択基準                       | 基本観点                        | 発行者名  |   |   |
|----------------------------|-----------------------------|---|---|---|
|                            |                             | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図   |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。 | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「深い学び」、「大切にしたい見方・考え方」、「数学の自由研究」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動」、「力をのばそう」、「活用・探究」、「MATHFUL」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「数学的活動」、「章のまとめの問題」、「深めよう」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul>                               |
|                            | 別表3                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> <li>巻末のアイデアボードがホワイトボードとして使用できるよう工夫している。</li> </ul> |

| 発行者名   |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなに説明しよう」、「Q」、「数学の広場」「学んだことを活用しよう」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」、「学びを身につけよう」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」、「調べよう」、「考えよう」、「TRY」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>別冊のワークシート等で、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」、「話しあおう」、「深めよう」「やってみよう」などで、調べたり考えたりできるよう工夫している。また、社会や日常生活につなげた内容になるよう工夫している。</li> <li>レポートの書き方についても表記し、考えをまとめ表現するための工夫がされている。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> <li>2部構成“自分から学ぼう編”の「学びのあしあと」で学習過程が意識できるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入を統一し、見通しが持てるよう工夫されている。</li> <li>プロセスまたはステップを示すことで学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>ノートの作り方、使い方について説明するページを設けている。</li> </ul>                    |

教科・種目名 数学

| 採択基準                       | 基本観点                   | 発行者名   |  |   |
|----------------------------|------------------------|--|--|---|
|                            |                        | 2 東書   | 4 大日本  | 11 学図   |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。 | (4)学習指導要領に示していない内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「数学のまど」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いたようすをグラフに表すと?</li> <li>・グラフを使って考えよう</li> </ul> <p>別表5</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「活用・探究」「MATHFUL」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形と円</li> <li>・立方体の切り口にできる図形</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「Tea Break」、「深めよう」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>a^1</math>や<math>a^0</math>はあるのかな?</li> <li>・2次の項や2次式もあるのかな?</li> </ul> |
|                            | (5)他の教科等との関連           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「他教科の学習と関連」や「学びをひろげよう」、「数学の自由研究」で他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時差の調べ方を知ろう(社会・地理)</li> </ul> <p>別表6</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほかの教科の学習や生活などに関連」や「社会にリンク」、「MATHFUL」で他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万華鏡の模様の見え方を考えよう(伝統文化)</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「役立つ数学」や「深めよう」、「疑問を考えよう」、「活用」などで他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル(ボランティア団体・医師)</li> </ul>   |

| 発行者名   |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「数学の広場」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・累乗どうしの乗法</li> <li>・三角形の外心と内心</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びをいかそう」の「発展マーク」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大公約数と最小公倍数</li> <li>・不等式</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「やってみよう」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師算</li> <li>・三角形の外心・内心</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」や「数学研究室」などで当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の内心と外心</li> <li>・多面体の面、頂点、辺の数の関係</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学の広場」で他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドルト環(数学と実社会)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びをいかそう」や「数学ライブラリー」などで他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急地震速報(防災)</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」、「見つけよう」や「数学旅行」、別冊「探究ノート」で他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降水確率(理科・環境)</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学を仕事に生かす」や「暮らしと数学」、「数学のたんけん」、「数学研究室」で他の教科等と関連する問題を示している。</li> </ul> <p>◇1年の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九章算術(歴史)</li> </ul>                      |

教科・種目名 数学

| 採択基準               | 基本観点                                       | 発行者名  |   |  |
|--------------------|--|---|---|--|
|                    |  | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図  |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること | (1)表記・表現の工夫<br><br><br><br><br><br><br>別表7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「D マーク」で示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄に言葉だけでなく、言葉に関連する図も記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「WEB マーク」で示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄に重要事項をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄に使用する記号も記載している。</li> </ul> |

| 発行者名   |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「まなびリンク」マークで示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄に同じ意味を持つ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」で示している。</li> <li>“みんなで学ぼう編”と“自分から学ぼう編”の2部構成にしている。</li> <li>さくいん欄に使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「Link マーク」で示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄に使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>環境に配慮した用紙やインクを使用している。</li> <li>キャラクターを登場させ、わかりやすくなるように工夫している。</li> <li>デジタルコンテンツが利用できるよう「Web マーク」で示している。</li> <li>学年に応じて巻末に教具を準備している。</li> <li>さくいん欄にふりがなをつけ、同じ意味をもつ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表1

| 調査項目                     |    | 発行者名  |  |  |
|--------------------------|----|---|--|--|
|                          |    | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図  |
| 数学的な見方・考え方を働かせるための教科書の構成 | 1年 | 0章 算数から数学へ<br>1章 数の世界をひろげよう(正負の数)<br>2章 数学のことばを身につけよう(文字と式)<br>3章 未知の数の求め方を考えよう(方程式)<br>4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう(比例と反比例)<br>5章 平面図形の見方をひろげよう(平面図形)<br>6章 立体の見方をひろげよう(空間図形)<br>7章 データを活用して判断しよう(データの分析と活用) | 1章 数の世界のひろがり<br>2章 文字と式<br>3章 1次方程式<br>4章 量の変化と比例、反比例<br>5章 平面の図形<br>6章 空間の図形<br>7章 データの分析 | 1章 正の数・負の数<br>2章 文字式<br>3章 1次方程式<br>4章 比例と反比例<br>5章 平面図形<br>6章 空間図形<br>7章 データの活用   |
|                          | 2年 | 1章 文字式を使って説明しよう(式の計算)<br>2章 方程式を利用して問題を解決しよう(連立方程式)<br>3章 関数を利用して問題を解決しよう(1次関数)<br>4章 図形の性質の調べ方を考えよう(平行と合同)<br>5章 図形の性質を見つけて証明しよう(三角形と四角形)<br>6章 起こりやすさをとらえて説明しよう(確率)<br>7章 データを比較して判断しよう(データの比較)     | 1章 式と計算<br>2章 連立方程式<br>3章 1次関数<br>4章 平行と合同<br>5章 三角形と四角形<br>6章 データの比較と箱ひげ図<br>7章 確率        | 1章 式の計算<br>2章 連立方程式<br>3章 1次関数<br>4章 図形の性質の調べ方<br>5章 三角形・四角形<br>6章 確率<br>7章 データの分布 |

| 発行者名  |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文  |
| 1章 整数の性質<br>2章 正の数、負の数<br>3章 文字と式<br>4章 方程式<br>5章 比例と反比例<br>6章 平面図形<br>7章 空間図形<br>8章 データの分析 | 1章 正の数・負の数<br>2章 文字の式<br>3章 方程式<br>4章 変化と対応<br>5章 平面図形<br>6章 空間図形<br>7章 データの活用             | 1章 正の数と負の数<br>2章 文字と式<br>3章 1次方程式<br>4章 比例と反比例<br>5章 平面図形<br>6章 空間図形<br>7章 データの活用 | 1章 正の数と負の数<br>2章 文字と式<br>3章 方程式<br>4章 比例と反比例<br>5章 平面図形<br>6章 空間図形<br>7章 データの活用 |
| 1章 式の計算<br>2章 連立方程式<br>3章 1次関数<br>4章 平行と合同<br>5章 三角形と四角形<br>6章 確率<br>7章 データの分析              | 1章 式の計算<br>2章 連立方程式<br>3章 一次関数<br>4章 図形の調べ方<br>5章 図形の性質と証明<br>6章 場合の数と確率<br>7章 箱ひげ図とデータの活用 | 1章 式の計算<br>2章 連立方程式<br>3章 1次関数<br>4章 図形の性質と合同<br>5章 三角形と四角形<br>6章 データの活用<br>7章 確率 | 1章 式の計算<br>2章 連立方程式<br>3章 1次関数<br>4章 図形の性質と合同<br>5章 三角形と四角形<br>6章 データの分布と確率     |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表1

| 調査項目                     |    | 発行者名   |  |   |
|--------------------------|----|--|--|---|
|                          |    | 2 東書   | 4 大日本  | 11 学図   |
| 数学的な見方・考え方を働かせるための教科書の構成 | 3年 | 1章 文字式を使って説明しよう(多項式)<br>2章 数の世界をさらにひろげよう(平方根)<br>3章 方程式を利用して問題を解決しよう(2次方程式)<br>4章 関数の世界をひろげよう(関数 $y=ax^2$ )<br>5章 形に着目して図形の性質を調べよう(相似な図形)<br>6章 円の性質を見つけて証明しよう(円)<br>7章 三平方の定理を活用しよう(三平方の定理)<br>8章 集団全体の傾向を推測しよう(標本調査) | 1章 多項式<br>2章 平方根<br>3章 2次方程式<br>4章 関数<br>5章 相似と比<br>6章 円<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査 | 1章 式の計算<br>2章 平方根<br>3章 2次方程式<br>4章 関数 $y=ax^2$<br>5章 相似な図形<br>6章 円<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査 |

| 発行者名  |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文   |
| 1章 式の計算<br>2章 平方根<br>3章 2次方程式<br>4章 関数 $y=ax^2$<br>5章 相似な図形<br>6章 円<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査 | 1章 式の展開と因数分解<br>2章 平方根<br>3章 二次方程式<br>4章 関数 $y=ax^2$<br>5章 図形と相似<br>6章 円の性質<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査とデータの活用 | 1章 式の計算<br>2章 平方根<br>3章 2次方程式<br>4章 関数 $y=ax^2$<br>5章 相似<br>6章 円<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査 | 1章 式の展開と因数分解<br>2章 平方根<br>3章 2次方程式<br>4章 関数 $y=ax^2$<br>5章 相似な図形<br>6章 円<br>7章 三平方の定理<br>8章 標本調査 |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表1

| 調査項目                     |                       | 発行者名   |  |   |
|--------------------------|-----------------------|--|--|---|
|                          |                       | 2 東書   | 4 大日本  | 11 学図   |
| 数学的な見方・考え方を働かせるための教科書の構成 | 本文構成                  | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本の問題」</li> <li>・「数学のまど」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章の問題 A」</li> <li>・「章の問題 B」</li> <li>・「深い学び」</li> <li>・「学びをひろげよう」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大切にしたい見方・考え方」</li> <li>・「数学の自由研究」</li> <li>・「補充の問題」</li> </ul> | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「活動(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「Q」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びにプラス」</li> <li>・「たしかめよう」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえろう」</li> <li>・「力をのばそう」</li> <li>・「活用・探求」</li> <li>・「レポートを書こう」</li> <li>・「社会にリンク」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題学習」</li> <li>・「MATHFUL」</li> <li>・「復習」</li> <li>・「補充問題・総合問題」</li> </ul> | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなことがわかったかな」</li> <li>・「Tea Break」</li> <li>・「確かめよう」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめの問題」</li> <li>・「深めよう」</li> <li>・「役立つ数学」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見方・考え方をまとめよう」</li> <li>・「今の自分を知ろう」</li> <li>・「表現する力を身につけよう」</li> <li>・「疑問を考えよう」</li> <li>・「数学の歴史の話」</li> </ul> |
|                          | 数学的活動を通して資質・能力を育成する工夫 | <p>・「章の問題」の「活用の問題」や「学びをひろげよう」では、日常生活などの問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「数学のまど」、「大切にしたい見方・考え方」、「数学の自由研究」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。</p>  | <p>・「活用・探求」、「課題学習」では、日常生活や他教科の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「MATHFUL」、「学びにプラス」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。</p>   | <p>・「深めよう」、「まとめの問題」の活用の問題では日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「Tea Break」、「疑問を考えよう」、「役立つ数学」では、日常にある数学に関連した内容や発展的な内容を学習することができる。</p>   |

| 発行者名   |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文  |
| <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「たしかめ」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本の問題」</li> <li>・「数学の広場」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」</li> <li>・「章の問題」</li> <li>・「学んだことを活用しよう」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのマップ」</li> <li>・「数学の広場」</li> <li>・「学んだことを活用しよう」</li> <li>・「補充問題」</li> </ul> | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろげよう(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「練習問題」</li> <li>・「数学ライブラリー」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びをたしかめよう」</li> <li>・「学びを身につけよう」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと練習しよう」</li> <li>・「力をつけよう」</li> <li>・「学びをいかそう」</li> </ul> | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確認問題」</li> <li>・「やってみようなど」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題 A」</li> <li>・「問題 B」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学旅行」</li> <li>・「チャレンジ」</li> <li>・「まとめ」</li> </ul> <p>◇別冊「探究ノート」</p> | <p>◇毎時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q(考えたり、説明したり、調べたりする問題)」⇒「例」⇒「問」</li> </ul> <p>◇節末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本の問題」</li> <li>・「数学のたんけん」</li> </ul> <p>◇章末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章の問題」</li> <li>・「とりくんでみよう」</li> </ul> <p>◇巻末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学マイトライ」</li> </ul> |
| <p>・「学んだことを活用しよう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「数学の広場」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。</p>   | <p>・「学びをいかそう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「数学ライブラリー」では、日常にある数学に関連した問題や、数学の歴史を学習することができる。</p>   | <p>・「探究ノート」(別冊)では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「やってみよう」、「数学旅行」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容を学習することができる。</p>   | <p>・「とりくんでみよう」では、日常生活の問題を数学を利用して解決したり、自分の考えを説明し伝え合う学習をすることができる。</p> <p>・「数学のたんけん」、「数学マイトライ」では、日常にある数学に関連した問題や数学の歴史、発展的な内容、数学とプログラミングとの関係を学習することができる。</p>  |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表2

| 調査項目                  | 発行者名   |   |  |
|-----------------------|--|---|--|
|                       | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図  |
| 基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。</li> <li>・算数と数学をつなぐ単元として「1年0章」を設けている。</li> <li>・算数や前の学年の学習内容を確認できるよう、巻末に「学びのつながり」を設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「ちょっと確認」を設けている。</li> <li>・「例」と似た形の問題に◇のマークをつけ、「例」の内容の定着を図っている。</li> <li>・巻末に本文の「問」に対応した「補充の問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。</li> <li>・学習の区切りで、学んだことを振り返る質問「学びをふり返ろう」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。</li> <li>・1年に「小学校算数のふり返り」のページを設けている。</li> <li>・1時間毎に「めあて」が示されている。</li> <li>・新たな学習内容に円滑に接続できるよう導入課題「考えよう」を設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「思い出そう」を設けている。</li> <li>・「例」にもタイトルをつけ、復習が行いやすいように工夫されている。</li> <li>・「例」の内容の定着を図る「たしかめ」や内容の理解を行う「Q」、「プラス・ワン」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。</li> <li>・1年に「ふりかえり～算数から数学へ～」のページを設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。</li> <li>・項の学習を通して身につく内容を「どんなことがわかったかな」で明確にしている。</li> <li>・節末に「確かめよう」、「計算力を高めよう」を設け、繰り返し練習で知識の技能の習得を図り、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に理解の確認を行う「○章のまとめの問題」を設けている。</li> <li>・章末に「○章を学んで」を設け、学びの確認をチェックすることができるようにしている。</li> </ul> |

| 発行者名  |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 17 教出   | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。</li> <li>・章冒頭の「○章○○を学習する前に」や側注の「算数から数学へ」で既習事項の関連内容を示している。</li> <li>・算数や前の学年の学習内容を確認できるよう、巻末に「学びのマップ」を設けている。</li> <li>・「例」にもタイトルをつけ、復習が行いやすいように工夫されている。</li> <li>・本文に「例」の内容の定着を図る「たしかめ」を設けている。</li> <li>・巻末に本文の「問」に対応した「補充の問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学への接続のための予習課題や算数のサポートとして1年巻末(自分から学ぼう編)に「算数をふりかえろう」を設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。</li> <li>・「例、例題」にもタイトルをつけ、復習が行いやすいように工夫されている。</li> <li>・「例、例題」、「問」以外に項末に「練習問題」を設けている。</li> <li>・巻末に本文の「問」に対応した「もっと練習しよう」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。</li> <li>・章末に理解の確認を行う「章末問題」を基礎基本「学びをたしかめよう」と応用力を養える「学びを身につけよう」と2部構成で設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・章冒頭の「○章○○の学習の前に」で関連する既習事項を確認できるようにしている。</li> <li>・1年巻末に、算数と数学のつながりを確認しながら学習を振り返る「中学1年のまとめ」を設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。</li> <li>・「例」にもタイトルをつけ、復習が行いやすいように工夫されている。</li> <li>・区切りごとに学習内容を確認する「まとめ」を設けている。</li> <li>・節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に理解の確認を行う「問題A、B」を設けている。</li> <li>・巻末に章の確認問題「チャレンジ編」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もくじに、これまでに学んだ内容のうち、関連するものを示し、系統的に学習できるようにしている。</li> <li>・1年巻頭に「算数のたしかめ」、巻末に「算数のたしかめ(問題編)」を設けている。</li> <li>・学びなおしができるよう、側注に「確かめ」を設けている。</li> <li>・各章の直前に「次の章を学ぶ前に」を設け、関連する既習事項を確認できるようにしている。</li> <li>・「例」「問」以外に側注にチャレンジ問題や「問」に関連した巻末の「補充問題」を設けている。</li> <li>・節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に理解の確認を行う「○章の問題」を設けている。</li> </ul> |



教科・種目名 数学調査研究事項  
別表2

| 調査項目                  | 発行者名  |  |  |
|-----------------------|---|--|--|
|                       | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図  |
| 基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に「章の問題 AB」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に本文の「Q」に対応した「補充問題」を設け、繰り返し練習で知識や技能の習得を図っている。</li> <li>・節末の「たしかめよう」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に「〇章をふり返ろう」を設けている。</li> <li>・学習の区切りで、学んだことを振り返り、数学の有効性に気付く質問「学びのふり返り」を設けている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に理解の確認を行う「〇年の復習」を設けている。</li> </ul> |

| 発行者名  |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・節末の「基本の問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページも示している。</li> <li>・章末に理解の確認を行う「章の問題」を設けている。</li> <li>・章末に「学習のまとめ」を設け、学びの振り返りができるようにしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「補充」「資料」「イメージ」「考察」の4種類で学習内容に関連したデジタルコンテンツの利用が可能である。</li> <li>・別冊でこれからの数学「探究ノート」を付録している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・項末毎に「次の課題」を設定し、予習しやすくしている。</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表3

| 調査項目              | 発行者名   |   |  |
|-------------------|--|---|--|
|                   | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図  |
| 論理的に考察し、表現するための工夫 | <p>・「深い学び」では、学習した内容をもとに、数や図形の性質から日常生活や身近なものに関する問題を取り上げている。</p> <p>・巻末の「大切にしたい見方・考え方」の中で、解決するまでの思考の道筋や見通しを立てるために必要な例なども分かりやすく示している。</p> <p>・「章の問題B」では、章の内容を応用したり活用したりする問題になっており、また、活用の問題は、日常生活につなげた内容になっている。</p> <p>・「D マーク」によって、インターネット上のコンテンツを使った学習を可能とし、さらに深い学びができるようになっている。</p> <p>・「数学の自由研究」では、数学的なものから身近なものまで、他教科との関連性を示しながら、レポートにまとめる課題となっている。</p> | <p>・「活動」問題では、学んだ内容をもとに、調べたり考えたりできる問題となっている。</p> <p>・「力を伸ばそう」では、章の内容を応用したり、活用したりする問題となっている。</p> <p>・「活用・探究」では、学習した内容を使った様々な場面において、さらに探究する内容となっている。</p> <p>・「レポートを書こう」では、学んだことをきっかけに研究の方法や、レポートの書き方の例を示している。</p> <p>・巻末の「課題学習」では、身の回りにおける数学を使った内容で興味を引く課題となっている。</p> <p>・MATHFUL では、日常生活に生かされている数学を紹介した読み物となっている。</p> | <p>・「数学的活動」では、学習した内容をもとに、課題を協働的に解決できるよう工夫されている。</p> <p>・「章のまとめの問題」では、基本・応用・活用と段階的に分けられており、各章の最後には学んだ内容がまとめられるように示されている</p> <p>・「深めよう」では、学習した内容をもとに、身の回りで使われている数学について考え、活用できるような問題となっている。</p> <p>・二次元コードによって、インターネット上のコンテンツを活用し、さらに深い学びができるようになっている。</p> <p>・巻末では、発表のしかたやレポートのまとめ方の例を紹介し、数学を活用した問題を示している。</p> |

| 発行者名   |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文  |
| <p>・「みんなに説明しよう」では、気づいたことや分かったことなどを、相手に説明できる問題が示されている。</p> <p>・「Q」では、学習した内容をもとに、身のまわりの数学を使った課題に対して、論理的に考察し、協働学習ができるよう工夫されている。</p> <p>・「数学の広場」では、日常生活や他教科の学習にも活用できる課題が示されている。</p> <p>・「レポートを書こう」では、調べたことを他の人に伝えるレポートの書き方の例を示している。</p> <p>・巻末には「章のまとめ」があり、章の振り返りとともに、さらに発展した問題にも取り組める。</p> <p>・巻末や巻末にある「学んだことを活用しよう」では、学習した内容を、身のまわりの問題に発展させ、さらに考えを深めることができる課題が準備されている。</p> | <p>・要所にある「説明しよう」では、自分の考えを表現できる問題が示されている。「話しあおう」では、いろいろな考えを話し合い、学びをひろげるよう示されている。「まとめよう」では、学んだ内容を振り返ったりまとめる活動ができるよう示されている。</p> <p>・巻末にある「学びを身につけよう」では、基礎基本をもとに発展問題に取り組むことができたり、二次元コードで大切なポイントや解説を確認することができる。</p> <p>・自分から学ぼう編の「レポート例」では、調べたことや学んだことをレポートにまとめる例を示している。</p> <p>・「学びのあしあと」には、各章の理解度をまとめることができ、振り返りに活用することができる。</p> | <p>・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容をさらに深める活動ができるよう示されている。</p> <p>・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、さらに思考力を深める内容となっている。</p> <p>・巻末には、問題 A・問題 B があり、学習の定着の程度に応じて取り組むことができる。</p> <p>・巻末の「チャレンジ問題」では、各章の発展問題が準備されている。</p> <p>・別冊の「探究ノート」では、学習した内容をさらに深める課題が準備されており、考えをまとめたり探究したりすることができるワークシートが示されている。</p> | <p>・問題によって「考えよう」「話し合おう」「深めよう」のマークがあり、考えを深める問題が示されている。</p> <p>・「やってみよう」では、学んだ内容を活用して、さらに発展させ論理的に考えさせる問題として示されている。</p> <p>・巻末の「とりくんでみよう」は、章の発展問題として示されている。</p> <p>・「学び合おう」では、対話シートを使って協働学習をする内容になっており、予想や比較、振り返りなどをまとめることができるように工夫されている。</p> <p>・「数学レポートをかこう」では、学んだことや調べたことをレポートにまとめる例を示している。</p> <p>・巻末で、数学と社会とのつながりにおける話が紹介されている。</p> <p>・「活用の問題」で、活用する力をさらに伸ばすための問題が準備されている。</p> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表4

| 調査項目                                 | 発行者名  |   |  |
|--------------------------------------|---|---|--|
|                                      | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図  |
| 生徒が見通しをもって取り組んだり、学んだことを振り返ったりするための工夫 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各節の導入では、学習課題に対して、問題「Q」考える手がかり「①②…」次につながる疑問「？」という構成で本文の学習につながるようにすることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>各章に考える楽しさを実感できる「深い学び」を設定し、「問題をつかむ」「見通しを立てる」など、側注に問題解決のプロセスを示すことで、学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>「学びをふり返ろう」や「虫めがねマークの囲み」により、見方・考え方をふり返ることで、今後の学習へのつながりが意識できるよう工夫されている。</li> <li>「ノートづくり方」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章に新しい学習を始めるための導入の活動を取り入れることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>各項に「めあて」があり、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>問題発見・課題解決の流れとして、「問題を見いだし」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の4つのステップを示すことで、学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>「ノートの作り方例」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各領域に入る前の「ふりかえり」で小学校や前学年の学習を振り返ることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>各章に新しい学習を始めるための導入の活動を取り入れることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>左側に帯をつけ、「問題を見つけよう」「表に表してみよう」など、今のような過程で学習をしているのが明確になるように工夫している。</li> <li>巻末の「見方・考え方をまとめよう」で、その学年での思考の流れを整理し、今後の学習や生活へのつながりが意識できるよう工夫されている。</li> <li>「ノートの使い方」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> <li>巻末がホワイトボードとして使用できるよう工夫している。</li> </ul> |

| 発行者名   |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のはじめに「学習する前に」をもうけている。</li> <li>各章に新しい学習を始めるための導入の活動を取り入れることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>重要な問いに「？マーク」をつけて強調するなど、問いを持ちながら学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>「問題をつかもう」「自分の考えをもとう」など、側注に問題解決のプロセスを示すことで、学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>各章の最後にある「学習のまとめ」で、この章で学習した内容を振り返るとともに、学習感想の例を参考にして、この章の学習過程を振り返る工夫がされている。</li> <li>「工夫してノートを書こう」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各節の導入に「学習のとびら」を設定し、身のまわりの題材を取り上げることで数学が生活や社会の中で有用に働いていることを実感しながら、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>「利用場面」を提示し、「ステップ1」で場面の状況を整理し、問題を設定し、「ステップ2」で見通しを立てて、問題を解決し、「ステップ3」で問題を広げたり、深めたりするという4つの場面を設置することで、学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>「自分から学ぼう編」では、「学びのあしあと」に学びの記録を残すことで、学習過程を意識できるよう工夫されている。</li> <li>「ノートをくふうして、学習に役立てよう」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のはじめに「ふりかえり」をもうけている。</li> <li>導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるよう工夫している。</li> <li>活動を通して解決するための課題「TRY1」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示することで、学習過程を整理できるよう工夫している。</li> <li>本冊の課題を自然な形で発展させた「別冊探究ノート」により、活動の見通しを立てたり振り返りに用いることができるよう工夫されている。</li> <li>「ノートのつくり方」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のはじめに「次の章を学ぶ前に」をもうけている。</li> <li>各章に新しい学習を始めるための導入の活動を取り入れることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>1つの小節を1時間の授業内容にすることで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>各小節では、学習の出発点となる問題「Q」と「めあて」を明確化することで、見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>日常や社会の事象、数学の事象から問題を見出した「学び合おう」では、対話を通して学び合う構成で、「見通しをもとう」「考えよう」など、学習過程を意識できるよう工夫している。</li> <li>「ノートのくふう」では、前に学んだことを振り返ることができるノートを書けるよう工夫している。</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表5

| 調査項目      |    | 発行者名   |   |   |
|-----------|----|--|---|---|
|           |    | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図   |
| 発展的な学習の内容 | 全体 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「数学のまど」で学習に関連した読み物や問題を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「活用・探究」や「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「Tea Break」「深めよう」「数学の歴史の話」で数学に関連した読み物や内容を示している。</li> </ul> |

| 発行者名   |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「数学の広場」や「数学の歴史」で数学に関連した読み物や内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「学びをいかそう」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「数学ライブラリー」で数学に関連した読み物や内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「やってみよう」「調べよう」や「数学の歴史を知ろう」などで学習に関連した読み物や問題を示している。</li> <li>・別冊「探究ノート」の「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容を取り上げている。</li> <li>・「数学研究室」で数学への興味が高まる課題を示している。</li> <li>・「数学のたんけん」で学習した内容に関連のある話を示している。</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表5

| 調査項目      |    | 発行者名   |   |   |
|-----------|----|--|---|---|
|           |    | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図   |
| 発展的な学習の内容 | 1年 | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いたようすをグラフに表すと？</li> <li>・グラフを使って考えよう</li> </ul> <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素因数分解を利用した約数の求め方</li> <li>・エラトステネスのふるい</li> <li>・身のまわりの正負の数</li> <li>・正負の数の減法</li> <li>・トランプゲーム</li> <li>・小町算</li> <li>・江戸時代に使われた文字</li> <li>・日本の伝統模様</li> <li>・おうぎ形の面積</li> <li>・球の体積と表面積の関係</li> <li>・降水確率</li> <li>・女子の生まれてくる確率</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形と円</li> <li>・立方体の切り口にできる図形</li> </ul> <p>◇「活用・探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数当てゲームの秘密</li> <li>・日常の場面で数学の問題をつくるには</li> <li>・ヒンメリを作ろう</li> </ul> <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魔方陣</li> <li>・記号や文字の起源・身のまわりのマイナス</li> <li>・0の発見</li> <li>・0でわることを考えないのはなぜ？</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>a^1</math>や<math>a^0</math>はあるのかな？</li> <li>・2次の項や2次式もあるのかな？</li> <li>・カレンダーの数の秘密を考えよう</li> <li>・2次方程式もあるの？</li> <li>・不等式の解を求めよう</li> <li>・球の体積</li> <li>・オイラーの多面体定理</li> <li>・立方体の切り口の形は</li> </ul> <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0でわることはできる？</li> <li>・記号の由来「+，-」</li> <li>・素数の話</li> <li>・用語の由来「方程式」</li> <li>・等式の性質の見方</li> <li>・用語の由来「関数」</li> <li>・双曲線の先端は？</li> <li>・反比例なのに比例定数？</li> <li>・正多面体</li> <li>・弧の長さとおうぎ形の面積</li> <li>・模型で考える角錐の体積</li> <li>・その他の代表値</li> <li>・分布のかたよりと代表値</li> </ul> <p>◇「数学の歴史の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魔方陣</li> <li>・円周率<math>\pi</math>の話</li> </ul> |

| 発行者名   |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 17 教出  | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文  |
| <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師算</li> <li>・累乗どうしの乗法</li> <li>・三角形の外心と内心</li> </ul> <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最小公倍数の求め方</li> <li>・ディオファントスの一生</li> <li>・座標平面</li> <li>・正多角形の作図</li> <li>・おうぎ形の面積</li> <li>・見取図</li> <li>・どんな立体になるのかな</li> <li>・アルキメデスの発見</li> <li>・棒グラフとヒストグラム</li> </ul> <p>◇「数学の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーメス・パピルス</li> <li>・方程式の由来</li> <li>・関数の由来</li> <li>・エラトステネスのふるい</li> <li>・円周率<math>\pi</math>の歴史</li> </ul> | <p>◇「学びをいかそう」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大公約数と最小公倍数</li> <li>・不等式</li> </ul> <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動を使って面積を求める</li> <li>・おうぎ形の面積</li> </ul> <p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エラトステネスのふるい</li> <li>・速さの単位</li> <li>・数あてマジック</li> <li>・方程式の由来</li> <li>・問題づくり</li> <li>・正多面体</li> <li>・側面図</li> <li>・垂直な2平面と投影図</li> <li>・アルキメデスの発見</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬師算</li> <li>・三角形の外心・内心</li> <li>・立体の切断</li> </ul> <p>◇「やってみよう」調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100以下の素数を求めよう</li> <li>・方程式の解の確かめ</li> <li>・式と表とグラフ</li> <li>・周の長さや面積</li> <li>・累積相対度数と中央値</li> <li>・関数の由来</li> </ul> <p>◇「探究ノート」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不等式の性質はある？</li> <li>・多面体の規則を見つけよう</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の内心と外心</li> <li>・多面体の面、頂点、辺の数の関係</li> </ul> <p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小町算</li> <li>・正多面体が5種類しかない理由</li> </ul> <p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大公約数と最小公倍数の求め方</li> <li>・3つの四角錐と立方体</li> <li>・分布の形と代表値</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表5

| 調査項目      |    | 発行者名  |   |   |
|-----------|----|---|---|---|
|           |    | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図   |
| 発展的な学習の内容 | 2年 | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が3つに増えたなら</li> <li>・桜の開花日を予想しよう</li> <li>・パスカルとフェルマーの手紙</li> </ul> <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式で使う文字</li> <li>・バナナ1ふさとつり合うのは？</li> <li>・ダイアグラム</li> <li>・特別な平行四辺形の利用</li> <li>・確率論の始まり</li> <li>・将棋の先手の決め方</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの文字を含む連立方程式</li> <li>・期待値</li> <li>・関数を使って予想しよう</li> <li>・シャッフル再生の不思議</li> </ul> <p>◇「活用・探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倍数の見つけ方</li> <li>・どちらの電球を買う？</li> <li>・穴のあいた多角形の角の和を求める</li> <li>・折り紙の不思議な性質</li> <li>・友好都市の気温を比べると</li> <li>・トスカナ大公の質問に答えよう</li> </ul> <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幾何学の起こり</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの文字を含む連立方程式を解こう</li> <li>・GPSと連立方程式の関係</li> <li>・CTスキャンと数学</li> <li>・同じ誕生日の人がいる確率</li> <li>・期待値と外れ値</li> <li>・どちらが有利？</li> <li>・パスカルとフェルマーになってみよう</li> </ul> <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解の確かめはなぜ必要？</li> <li>・傾きが0の直線</li> <li>・解が1組にならない連立方程式</li> <li>・用語の由来「錯角」</li> <li>・点Pを動かして考えよう</li> <li>・四角形の合同条件はあるの？</li> </ul> <p>◇「深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータを用いた四分位数の求め方</li> <li>・面積は求められる？</li> <li>「数学の歴史の話」</li> <li>・鶴亀算</li> <li>・作図と証明の歴史</li> </ul> |

| 発行者名   |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文  |
| <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のつながり</li> <li>・文字が3つあるときはどうすればよいのかな</li> <li>・立方体の切り口</li> <li>・期待値</li> </ul> <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆から読んでも同じ数</li> <li>・工夫して文字を消去してみよう</li> <li>・どの数量を文字で表すとよいか</li> <li>・同位角・錯角の意味</li> <li>・多角形の外角の和</li> <li>・星形五角形の5つの角の和</li> <li>・大きさの等しい角を作図する</li> <li>・穴のあいた図形の角</li> </ul> <p>◇「数学の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユークリッドの原論</li> <li>・ダランベールの誤り</li> <li>・確率論の起こり</li> <li>・点の数と面積の関係</li> </ul> | <p>◇「学びをいかそう」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点の集合と外心・内心</li> <li>・どちらのくじをひこうかな？</li> </ul> <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角の大きさを求める</li> <li>・へこみのある図形</li> <li>・問題をつくり変える</li> <li>・食塩水の濃度</li> </ul> <p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2組の辺とその間にない角だと？</li> <li>・ユークリッドの原論</li> <li>・箱ひげ図のよさ</li> </ul> | <p>◇「やってみよう」「調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解の確かめ</li> </ul> <p>◇「探究ノート」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が3つの方程式</li> <li>・グラフを左右に移動したら</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの文字を含む連立方程式</li> <li>・期待値(生活)</li> </ul> <p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続する10個の整数の和</li> <li>・条件を変えて考えよう</li> </ul> <p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒストグラムと箱ひげ図の関係</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表5

| 調査項目      |    | 発行者名   |   |   |
|-----------|----|--|---|---|
|           |    | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図   |
| 発展的な学習の内容 | 3年 | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな数の分母の有理化</li> <li>・パスカルの三角形</li> <li>・瞬間の速さ</li> <li>・容積を最大にするには？</li> <li>・円周角を動かすと？</li> </ul> <p>◇「数学のまど」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点の数を増やすと？</li> <li>・<math>\sqrt{2}</math> は本当に分数で表せない？</li> <li>・平方根の近似値のおぼえ方</li> <li>・続いた自然数の2乗の和</li> <li>・ガリレオの実験</li> <li>・数直線を使った積や商の表し方</li> <li>・平方根の長さの作図</li> <li>・サッカーコートをつくるには？</li> <li>・ヒポクラテスの月形</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背理法</li> <li>・分母が多項式であるときの有理化</li> <li>・関数<math>y=ax^2</math>のグラフと一次関数のグラフの交点</li> <li>・三角形の重心</li> <li>・円に内接する四角形、接弦定理</li> <li>・二乗すると負の数になる数</li> </ul> <p>◇「活用・探究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素早く計算できるわけを考えよう</li> <li>・カレンダーの中の数を調べよう</li> <li>・図形のなかにいろいろな関数を見つけよう</li> <li>・ぴったり入る撮影位置はどこ</li> </ul> <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\sqrt{2}</math> が有理数でないわけ</li> <li>・三平方の定理のいろいろな証明</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式どうしの除法</li> <li>・乗法公式を使った分母の有理化</li> <li>・総当たり戦の試合数は？</li> <li>・動かして考えよう</li> <li>・放物線はみな相似？</li> <li>・バランスのとれる場所はどこ？</li> <li>・高校へのかけ橋</li> </ul> <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表を使った因数分解</li> <li>・<math>\sqrt{\quad}</math> のついた数の近似値の覚え方</li> <li>・用語の由来「平方根、<math>\sqrt{\quad}</math>」</li> <li>・循環小数</li> <li>・記号の由来「<math>\equiv</math>、<math>\infty</math>」</li> <li>・ヒポクラテスの月</li> <li>・ピタゴラス数</li> <li>・フェルマーの最終定理</li> </ul> <p>◇「数学の歴史の話」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理の証明</li> </ul> |

| 発行者名  |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文   |
| <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法公式を使った分母の有理化</li> <li>・<math>\sqrt{2}</math> は無理数であることの証明</li> <li>・放物線と直線の交点</li> <li>・タイルの枚数</li> <li>・三角形の重心</li> <li>・円のいろいろな性質</li> </ul> <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの自然数の積を簡単に求める方法</li> <li>・循環小数</li> <li>・平方根のおよその値の覚え方</li> <li>・平均を使った平方根の近似値の求め方</li> <li>・2次方程式の解の個数</li> <li>・文字のおき方の工夫</li> <li>・平行線と線分の比の逆は成り立つ？</li> <li>・線分の長さの比</li> <li>・三平方の定理の証明パズル</li> <li>・ピタゴラス数</li> <li>・平方根の長さの線分のかき方</li> </ul> <p>◇「数学の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続する自然数の和</li> <li>・根号の歴史</li> <li>・円周率の数の並び</li> <li>・倍数の見つけ方</li> <li>・大気中の二酸化炭素の濃度</li> </ul> | <p>◇「学びをいかそう」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\sqrt{2}</math> は無理数であることの証明</li> <li>・変化の割合の計算</li> <li>・グラフの交点の座標</li> <li>・三角形の重心</li> <li>・円に内接する四角形</li> <li>・接線と弦のつくる角</li> <li>・方べきの定理</li> </ul> <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理の証明</li> <li>・データを整理するときには</li> </ul> <p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式から公式を導く</li> <li>・素因数分解</li> <li>・計算のしくみ</li> <li>・平方根の値の覚え方</li> <li>・循環小数と分数</li> <li>・ディオファントスの考えた解き方</li> <li>・平行線と線分の比の性質の利用</li> <li>・星形の図形の先端にできる角の和</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\sqrt{2}</math> が無理数であることの証明</li> <li>・放物線と直線の交点の座標</li> <li>・三角形の重心と内心</li> <li>・円に関するいろいろな性質</li> </ul> <p>◇「やってみよう」「調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環小数</li> <li>・くふうして因数分解を利用する</li> <li>・平均の速さ</li> <li>・三平方の定理の証明</li> <li>・三平方の定理の逆</li> </ul> <p>◇「探究ノート」の「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根の値の増え方</li> <li>・放物線と相似</li> </ul> | <p>◇「発展マーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式の利用</li> <li>・指数関数</li> <li>・<math>\sqrt{2}</math> が無理数であることの証明</li> <li>・円周角を動かしていくと</li> </ul> <p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便利な計算方法</li> <li>・三平方の定理の証明</li> </ul> <p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根号のついた数の近似値の覚え方</li> <li>・ピタゴラス数</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表6

| 調査項目            |    | 発行者名  |  |  |
|-----------------|----|---|--|--|
|                 |    | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図  |
| 日常生活や他教科等と関わる内容 | 全体 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「他教科の学習と関連」で学んだ数学を他教科の学習に活用する問題を示している。</li> <li>・「学びをひろげよう」や巻末の「数学の自由研究」で日常生活に関わる内容や他教科の学習に活用する問題を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほかの教科の学習や生活などに関連」で学んだ数学を他教科の学習に活用する問題を示している。</li> <li>・「社会にリンク」で学習内容と関連することがらのコラムを示している。</li> <li>・「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや、楽しく豊かな数学の世界を知ることができる内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「役立つ数学」や「深めよう」や「Tea Break」で学んだ数学を他教科の学習に活用する問題を示している。</li> <li>・章のまとめの「活用」で関連する職業・仕事に関わる問題が示されている。</li> <li>・巻末の「疑問を考えよう」で日常生活に関わる内容を示している。</li> </ul> |

| 発行者名  |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学の広場」で日常生活や他教科に活用する内容を示している。</li> <li>・巻末の「数学の広場」で社会や職業の中で数学が活用されている例を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「学びをいかそう」で他教科の学習に活用する問題や日常生活に関わる内容を示している。</li> <li>・「数学ライブラリー」で日常生活に関わる内容を示している。</li> <li>・単元の「～の利用」の最初に日常の利用場面を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べよう」「見つけよう」などで日常生活に関わる内容や他教科の学習に活用する問題を示している。</li> <li>・巻末の「数学旅行」で身のまわりにある数学を示している。</li> <li>・別冊「探究ノート」の「課題学習」で日常生活に関わる内容を示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学を仕事に生かす」や「暮らしと数学」で仕事や生活の中にある数学の話を示している。</li> <li>・「数学のたんけん」、「数学研究室」で学習した内容に関連のある話を示している。</li> </ul> |



教科・種目名 数学調査研究事項  
別表6

| 調査項目                    |    | 発行者名  |  |   |
|-------------------------|----|---|--|---|
|                         |    | 2 東書  | 4 大日本  | 11 学図   |
| 日常生活や<br>他教科等と<br>関わる内容 | 1年 | <p>◇「他教科の学習と関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時差の調べ方を知ろう(社会・地理)</li> <li>・日本の衣文化を知ろう(技術・家庭)</li> <li>・AEDについて知ろう(保健体育)</li> </ul> <p>◇「学びをひろげよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインにひそむ数学</li> <li>・スポーツでもデータ活用</li> </ul> <p>◇「数学の自由研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素数のひみつを調べよう(技術・家庭)</li> <li>・ランドルト環のしくみ(保健体育)</li> <li>・地震のゆれの予測のしくみ(理科)</li> <li>・エッシャーに挑戦しよう(美術)</li> <li>・自動車の死角を考えよう(理科・保健体育)</li> </ul> | <p>◇「ほかの教科の学習や生活などに関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外に住む友だちと交流しよう(社会・国際)</li> <li>・震源から何km離れているかな(理科・防災)</li> <li>・万華鏡の模様の見え方を考えよう(伝統文化)</li> <li>・エンブレムのしくみを解明しよう(美術)</li> <li>・ライバルチームの投手の攻略方法を考えよう(スポーツ)</li> </ul> <p>◇「社会にリンク」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発見！仕事のなかの数学</li> </ul> <p>◇「MATHFUL」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素数の力で生き抜いてきたセミ(理科)</li> <li>・長く認められなかった負の数(歴史)</li> <li>・関数で健康管理(健康)</li> <li>・船が安全に進むための工夫(地理)</li> <li>・手まり模様の秘密(伝統文化)</li> </ul> | <p>◇「役立つ数学」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RSA 暗号</li> <li>・和算における文字を使った式</li> <li>・文字を使った式</li> <li>・電子レンジの加熱時間</li> <li>・ルーローの三角形</li> <li>・POS データとABC 分析</li> </ul> <p>◇「深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻がもどる？</li> <li>・震源までの距離は？</li> <li>・最短コースは？</li> <li>・人口ピラミッド</li> </ul> <p>◇「Tea Break」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の成長に見られる比例</li> <li>・降水確率(気象予報士)</li> </ul> <p>◇「活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽電池(エンジニア)</li> <li>・ケーブルの話(土木技術者)</li> <li>・フード・マイレージ</li> <li>・リサイクル(ボランティア団体・医師)</li> <li>・地図上の位置</li> <li>・クロカンブッシュ(パーティシエ)</li> </ul> <p>◇「疑問を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米は何粒</li> <li>・当選するには最低何票</li> <li>・複雑な形の面積</li> <li>・道路のカーブの半径は</li> </ul> |

| 発行者名   |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文   |
| <p>◇「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素数ゼミ</li> <li>・魔方陣</li> <li>・自動車のナンバープレートを使った遊び</li> <li>・センチュリーパズル</li> <li>・ランドルト環(数学と実社会)</li> <li>・ルーローの三角形(数学と実社会)</li> <li>・日本の伝統模様(数学と実社会)</li> <li>・累積相対度数を表すグラフ(数学と実社会)</li> </ul> <p>◇巻末の「数学の広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報士</li> <li>・データアナリスト</li> </ul> | <p>◇「数学ライブラリー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖の水位</li> <li>・古代火時計</li> <li>・モビール</li> <li>・日本の伝統模様</li> <li>・回転体のかざり</li> <li>・表計算ソフトを使って</li> <li>・何分発のバスに乗る？</li> </ul> <p>◇「学びをいかそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何時に電話しようかな？(国際理解)</li> <li>・お手玉をつくろう(伝統文化)</li> <li>・緊急地震速報(防災)</li> <li>・ランドルト環(保健)</li> <li>・ヒンメリをつくろう(芸術)</li> <li>・ヒストグラムを観察しよう(自然環境)</li> <li>・少子高齢化している国は(国際理解)</li> <li>・プログラミングで模様をつくろう</li> <li>・社会見学にいこう</li> </ul> <p>◇「～の利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優勝をめざそう</li> <li>・何年後かな？</li> <li>・リサイクルすると</li> <li>・どこで水を飲ませる？</li> </ul> | <p>◇「調べよう」「見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の意味</li> <li>・音の速さ</li> <li>・地震の揺れ</li> <li>・積み木を3方向から見る</li> <li>・まとめられたデータの代表値</li> </ul> <p>◇「数学旅行」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗号と素数</li> <li>・塵劫記</li> <li>・ディオファントスの一生</li> <li>・深海の水圧</li> <li>・封筒で立体を作ってみよう</li> <li>・地球温暖化問題</li> <li>・降水確率</li> </ul> <p>◇「探究ノート」の「課題学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドルト環をつくってみよう</li> <li>・機関車の模型を作ろう</li> <li>・きれいなおうぎ形</li> <li>・日本の伝統的な文様</li> </ul> | <p>◇「数学を仕事に生かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「暮らしと数学」</li> <li>・データアナリスト</li> <li>・暗号と素因数分解</li> </ul> <p>◇「数学研究室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震のP波とS波(防災)</li> <li>・コンピュータの活用(情報)</li> </ul> <p>◇「数学のたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりにある正の数と負の数(防災・生活)</li> <li>・トランプゲームをしよう</li> <li>・湖面の高さと湖の深さ(地理)</li> <li>・エラトステネスのふるい</li> <li>・+, -, ×, ÷の歴史(歴史)</li> <li>・九章算術(歴史)</li> <li>・ディオファントスの一生(歴史)</li> <li>・円周率の歴史(歴史・伝統と文化)</li> <li>・数量を表す文字(英語)</li> <li>・データを分けて調べてみると</li> <li>・累積相対度数を折れ線グラフに表すと</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表6

| 調査項目                    |    | 発行者名  |   |   |
|-------------------------|----|---|---|---|
|                         |    | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図   |
| 日常生活や<br>他教科等と<br>関わる内容 | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「他教科の学習と関連」</li> <li>・献立作りを知ろう(技術・家庭)</li> <li>・二酸化炭素の削減について知ろう(技術・家庭)</li> <li>・リンク機構のしくみを知ろう(技術・家庭)</li> <li>◇「学びをひろげよう」</li> <li>・桜の開花日を予想しよう</li> <li>・コンビニのデータ活用</li> <li>◇「数学の自由研究」</li> <li>・アメリカホームステイ(英語)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ほかの教科の学習や生活などに関連」</li> <li>・どんな運動をどれくらい行えばいい?(保健体育)</li> <li>◇「社会にリンク」</li> <li>・発見!仕事のなかの数学</li> <li>◇「MATHFUL」</li> <li>・古くから伝わる連立方程式</li> <li>・完全数、友愛数</li> <li>・さっさ立てに挑戦しよう(歴史)</li> <li>・暮らしに役立つ関数</li> <li>・不思議な錯視の世界(美術)</li> <li>・点字を生んだブライユの想い</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「役立つ数学」</li> <li>・もとの重さは?</li> <li>・トラス構造</li> <li>・ワイパーの形</li> <li>・迷惑メールの判別法</li> <li>・グラフの読み取りの注意点</li> <li>◇「深めよう」</li> <li>・赤道のまわりにロープを巻くと?</li> <li>・CTスキャンと数学(医師・放射線技師)</li> <li>・どちらの車がお買い得(エンジニア)</li> <li>・どちらが有利?</li> <li>◇「Tea Break」</li> <li>・スロープの傾き</li> <li>・ダイヤグラム(鉄道会社)</li> <li>・鉛筆の回転角は何度?</li> <li>・ダランベールの誤り</li> <li>・確率論の幕開け</li> <li>◇「活用」</li> <li>・印刷代</li> <li>・ターレスの方法</li> <li>・賞品当てゲーム</li> <li>・箱ひげ図の利用</li> <li>「疑問を考えよう」</li> <li>・時計の針が重なるのは何時?</li> <li>・気温は上がっていく?</li> <li>・点字のしくみは?</li> </ul> |

| 発行者名  |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 17 教出   | 61 啓林館  | 104 数研  | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学の広場」</li> <li>・自転車のサイズと進む距離(数学と生活)</li> <li>・グラフの形はどれかな(数学と生活)</li> <li>・スロープの勾配(数学と実社会)</li> <li>・ミウラ折り(数学と実社会)</li> <li>・面積を変えずに境界線をひき直す(数学と実社会)</li> <li>・地球の温暖化</li> <li>◇巻末の「数学の広場」</li> <li>・陸上トラック(保健体育)</li> <li>・輸送計画担当者</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学ライブラリー」</li> <li>・雷さまはどこ?</li> <li>・AEDの重要性がわかる</li> <li>グラフ</li> <li>・電車のダイヤグラム</li> <li>・1周した結果は</li> <li>・折り紙で正三角形をつくらう</li> <li>・ミウラ折り</li> <li>・コンピュータを使って</li> <li>・箱ひげ図からよみとれないこと</li> <li>◇「学びをいかそう」</li> <li>・スタートの位置はどこ?(体育)</li> <li>・つるかめ算(伝統文化)</li> <li>・料金が安いのは(仕事)</li> <li>・代表を決めよう</li> <li>・プログラミングで数を並びかえよう</li> <li>・社会見学にいこう</li> <li>◇「～の利用」</li> <li>・シュートのうちわけは?</li> <li>・ダム貯水量は</li> <li>・折りたたみ式テーブルのしくみ</li> <li>・どちらが有利かな?</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「調べよう」「見つけよう」</li> <li>・カレンダーの数の並び</li> <li>・斜面の傾き</li> <li>・ダイヤグラム</li> <li>・錯角</li> <li>・紙テープを折ってできる三角形</li> <li>◇「数学旅行」</li> <li>・温度の単位</li> <li>・LED電球はお得</li> <li>・星形の図形の角の和</li> <li>・ユークリッド言論</li> <li>・ビッグデータ</li> <li>・誕生日が同じ日である人がいる確率</li> <li>◇「探究ノート」の「課題学習」</li> <li>・長さの感覚を調べよう</li> <li>・動物の年齢を人間に換算する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学を仕事に生かす」</li> <li>◇「暮らしと数学」</li> <li>・エンジニア</li> <li>・1970年の大阪万博の入場者数</li> <li>◇「数学研究室」</li> <li>・さっさ立て(歴史・伝統と文化)</li> <li>・食塩水の濃度(理科)</li> <li>・ダイヤグラム(生活)</li> <li>・点字のしくみ(福祉)</li> <li>◇「数学のたんけん」</li> <li>・雷に気をつけよう(防災)</li> <li>・勾配(福祉・生活)</li> <li>・ユークリッドと幾何学(歴史)</li> <li>・反例を示す</li> <li>・2つのさいころの目の数の和</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表6

| 調査項目                    |    | 発行者名   |  |  |
|-------------------------|----|--|--|--|
|                         |    | 2 東書   | 4 大日本  | 11 学図  |
| 日常生活や<br>他教科等と<br>関わる内容 | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「他教科の学習と関連」</li> <li>・斜面を下る台車の運動を知ろう(理科)</li> <li>・調理器具(技術・家庭)</li> <li>「学びをひろげよう」</li> <li>・渋滞学を学んでみよう</li> <li>◇「数学の自由研究」</li> <li>・黄金比(美術)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ほかの教科の学習や生活などに関連」</li> <li>・マグニチュードと地震のエネルギー</li> <li>・パスタメジャーを作ろう(家庭科)</li> <li>・折り紙のなかに数学を見つけよう(伝統文化)</li> <li>・調査に関することば(外国語)</li> <li>・選挙結果を予測しよう(社会)</li> <li>・国勢調査と標本調査(社会)</li> <li>◇「社会にリンク」</li> <li>・発見！仕事のなかの数学</li> <li>◇「MATHFUL」</li> <li>・数のひろがり(歴史)</li> <li>・数の読み方と言語(国際理解)</li> <li>・身近にある放物線</li> <li>・落下運動の発見(理科)</li> <li>・リレーのバトンパス(保健体育)</li> <li>・地震に耐える能力を調べる(理科)</li> <li>・どうやって認識しているの</li> <li>・アインシュタインもおどろいたお金のしくみ</li> <li>・江戸時代に数学が流行(歴史)</li> <li>・日本のことばと数(国語)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「役立つ数学」</li> <li>・日本人に好まれやすい白銀秘(イラストレーター・デザイナー)</li> <li>・小学生のガウス</li> <li>・数学者 岡潔</li> <li>・デッサンと相似(美術科)</li> <li>・船の位置を求める方法</li> <li>・三四五(測量士・大工)</li> <li>・開票率1%で当選確実？</li> <li>◇「深めよう」</li> <li>・丸太からとれる角材は(建築士・大工・林業)</li> <li>・スピードと停止距離の関係は？</li> <li>・釣瓶岳から富士山が撮影できた？</li> <li>・はずれた予想</li> <li>◇「Tea Break」</li> <li>・陸地と海を正方形に直す</li> <li>と</li> <li>・バビロニアの粘土板</li> <li>・身近に見られる放物線</li> <li>・リレーのバトンパス</li> <li>・風圧ってどのくらい？(理科)</li> <li>・ナスカの地上絵</li> <li>・木の高さを見積もる知恵</li> <li>・国勢調査の速報</li> <li>◇「活用」</li> <li>・書籍の印刷(出版社・印刷会社)</li> </ul> |

| 発行者名  |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 17 教出   | 61 啓林館   | 104 数研  | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学の広場」</li> <li>・記号や式を英語で読む(数学と英語)</li> <li>・身のまわりで見られる曲線(数学と生活)</li> <li>・パラボラアンテナ(数学と実社会)</li> <li>・ガリレオ・ガリレイの実験(数学と理科)</li> <li>・身のまわりの相似な立体(数学と生活)</li> <li>・円の中心の求め方(数学と実社会)</li> <li>・おおがね(数学と実社会)</li> <li>◇巻末の「数学の広場」</li> <li>・黄金比(美術)</li> <li>・都市模型制作者</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学ライブラリー」</li> <li>・ガリレオ・ガリレイ</li> <li>・大矩</li> <li>・国勢調査</li> <li>・選挙結果の予測</li> <li>・魚の数を調べるには？</li> <li>◇「学びをいかそう」</li> <li>・容器をつくろう</li> <li>・牛乳パックの容積</li> <li>・全身がうつる鏡(理科)</li> <li>・曲尺の秘密(技術)</li> <li>・災害から身を守ろう</li> <li>・社会見学にいこう</li> <li>・紙の大きさ</li> <li>◇「～の利用」</li> <li>・ピザをつくろう</li> <li>・通路のあるチューリップ畑をつくろう</li> <li>・車は急にとまれない</li> <li>・どちらの方が割安かな？</li> <li>・船の位置はどこ？</li> <li>・富士山の頂上から見わたせる範囲は？</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「調べよう」「見つけよう」</li> <li>・身近にある放物線</li> <li>・関数かとうか判断しよう</li> <li>・3等分する方法</li> <li>・古代の測量法</li> <li>・コースター作り</li> <li>・山の頂上から見渡せる距離</li> <li>・コンピューターを利用した無作為抽出</li> <li>・睡眠状況の調査</li> <li>・米粒の数の推定</li> <li>◇「数学旅行」</li> <li>・ミクロの世界</li> <li>・リレーのバトンパス</li> <li>・皆既日食と金環日食</li> <li>・曲尺と数学</li> <li>・ピタゴラス</li> <li>・日本の数学～和算～</li> <li>・選挙速報</li> <li>◇「探究ノート」の「課題学習」</li> <li>・大きなサイズのパンケーキ</li> <li>・白銀長方形と黄金長方形</li> <li>・円柱の側面をまき直す</li> <li>・教科書中の文章の数</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「数学を仕事に生かす」</li> <li>◇「暮らしと数学」</li> <li>・アーティスト</li> <li>・風の力(防災)</li> <li>・データから読み取ろう(生活)</li> <li>◇「数学研究室」</li> <li>・黄金比(歴史・生活)</li> <li>・和算の歴史(歴史・伝統と文化)</li> <li>◇「数学のたんけん」</li> <li>・記号√の起源(歴史・英語)</li> <li>・放物線(生活)</li> <li>・記号πの起源(歴史)</li> <li>・天体の体積(理科)</li> <li>・過去の標本調査での失敗(歴史)</li> <li>・コンピュータの活用(情報)</li> <li>・どこまで見えるか調べよう</li> </ul> |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表6

| 調査項目                    |    | 発行者名 |              |  |
|-------------------------|----|------|--------------|--|
|                         |    | 2 東書 | 4 大日本        | 11 学図  |
| 日常生活や<br>他教科等と<br>関わる内容 | 3年 |      | ・美術と数学、音楽と数学 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッタースピードと絞り<br/>(フォトグラファー)</li> <li>・風力発電(エンジニア)</li> <li>・測量(測量士)</li> <li>・みかんの栽培(農家)</li> <li>◇「疑問を考えよう」</li> <li>◇「数学の歴史の話」</li> <li>・地球の測り方</li> <li>・日本地図を最初につくつ<br/>た人物</li> </ul> |

| 発行者名  |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| 17 教出 | 61 啓林館 | 104 数研 | 116 日文 |
|       |        |        |        |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表7

| 調査項目                                       | 発行者名   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|
|  | 2 東書   | 4 大日本   | 11 学図   |   |
| ユニバーサルデザイン化に向けた工夫(文字の書体、大きさ、図表等の色遣い、装丁方法等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚特性に適応するようにデザインされている。</li> <li>・誰もが学びやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・環境に配慮した再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用している。</li> <li>・持ち運びの際の生徒の負担軽減のため、軽量化した用紙を使用している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・色覚特性に配慮した四色刷りを使用している。</li> <li>・読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・環境に配慮した紙や植物油インキを使用している。</li> <li>・表紙は丈夫で汚れにくいよう加工している。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも区別しやすい色遣いにするなど、カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。</li> <li>・健康やアレルギーに配慮した植物油インキを使用している。</li> <li>・表面にコーティングを施し、汚損しにくくしている。</li> </ul> |   |
| 教具の内容                                      | 1年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正四面体模型</li> <li>・正六面体模型</li> <li>・正八面体模型</li> <li>・正十二面体模型</li> <li>・正二十面体模型</li> <li>・角柱と角錐の体積関係補助教具<br/>(巻末教具計4ページ)</li> </ul> <p>D マーク 25 箇所</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正十二面体模型</li> <li>・正二十面体模型</li> <li>・データ分析用紙テープ<br/>(巻末教具計2ページ)</li> </ul> <p>Web マーク 19 箇所</p>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の加減用カード</li> <li>・角柱と角錐の体積関係補助教具<br/>(巻末教具計4ページ)</li> </ul> <p>二次元コード 14 箇所</p>                     |
|  | 2年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率用カード<br/>(巻末教具計1ページ)</li> </ul> <p>D マーク 16 箇所</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率用カード<br/>(巻末教具計1ページ)</li> </ul> <p>Web マーク 11 箇所</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の合同補助教具</li> <li>・平行四辺形の点対称移動補助教具</li> <li>・確率用さいころ<br/>(巻末教具計1ページ)</li> </ul> <p>二次元コード 10 箇所</p> |

| 発行者名  |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 17 教出   | 61 啓林館  | 104 数研   | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・認識しやすい配色にするなど、カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。</li> <li>・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。</li> <li>・生徒の身体的負担軽減のため、軽い紙を採用している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての生徒が見やすくなるよう、カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。</li> <li>・誰もが読みやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・環境にやさしい再生紙や化学物質をおさえた植物油インキを使用している。</li> <li>・みんなで学ぼう編と自分から学ぼう編の2部構成になっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にとっても見分けやすい色使いカラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。</li> <li>・読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・植物性インキと再生紙を使用している。</li> <li>・別冊探究ノートを採用している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。</li> <li>・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・植物性インキと再生紙を使用している。</li> </ul>     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面</li> <li>・正四面体模型</li> <li>・正六面体模型</li> <li>・正八面体模型</li> <li>・正十二面体模型</li> <li>・正二十面体模型</li> <li>・角柱と角錐の体積関係補助教具<br/>(巻末教具計6ページ)</li> </ul> <p>まなびリンク 13 箇所</p>     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の移動補助教具</li> <li>・作図補助教具</li> <li>・円補助教具</li> <li>・立体の切断補助教具<br/>(巻末教具計1ページ)</li> </ul> <p>Link マーク 63 箇所</p>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな立体作成補助教具</li> <li>・正八面体模型</li> <li>・正十二面体模型</li> <li>・正二十面体模型<br/>(巻末教具計5ページ)</li> </ul> <p>Web マーク 35 箇所</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面</li> <li>・確率用カード<br/>(巻末教具計2ページ)</li> </ul> <p>まなびリンク 7 箇所</p>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率用カード<br/>(巻末教具計2ページ)</li> </ul> <p>Link マーク 50 箇所</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率用カード<br/>(巻末教具計2ページ)</li> </ul> <p>Web マーク 25 箇所</p>   |

教科・種目名 数学調査研究事項  
別表7

| 調査項目             |    | 発行者名  |   |  |
|------------------|----|---|---|--|
|                  |    | 2 東書  | 4 大日本   | 11 学図  |
| 教具の内容            | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> <li>・三平方の定理証明補助教具</li> <li>・円周角の定理の逆補助教具</li> </ul> (巻末教具計1ページ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> <li>・三平方の定理証明補助教具</li> </ul> (巻末教具計1ページ)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> <li>・三平方の定理証明補助教具</li> </ul> (巻末教具計1ページ)   |
|                  |    | D マーク 11 箇所   | Web マーク 20 箇所   | 二次元コード 17 箇所   |
| キャラクターの内容やマークの工夫 |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーローというキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「D マーク」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、他教科の教科書の紙面を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に言葉だけでなく、言葉に関連する図も記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーとリカイというキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「Web マーク」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、数学と社会との関わりに関するインタビュー動画を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に重要事項をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・木のキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」を示している。また、整理番号を入力することで検索しやすいように工夫している。マークがついている場所では、問題のシミュレーションや動画の視聴、プログラミングや統計データを視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に使用する記号も記載している。</li> </ul> |

| 発行者名   |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 17 教出  | 61 啓林館   | 104 数研   | 116 日文   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> <li>・三平方の定理証明補助教具</li> <li>・座標平面</li> </ul> (巻末教具計2ページ)  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> <li>・三平方の定理証明補助教具</li> </ul> (巻末教具計1ページ)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・因数分解補助教具</li> </ul> (巻末教具計1ページ)  |
| まなびリンク 9 箇所  | 二次元コード 54 箇所   | Link マーク 51 箇所   | Web マーク 25 箇所  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユークとリッドというキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「まなびリンク」を示し、マークがあるページでは、問題のシミュレーションや動画の視聴、練習問題を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に同じ意味を持つ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・つむぎというキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「二次元コード」を示し、マークがついている場所では、問題のシミュレーションや動画、統計データ、練習問題を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンガルーのキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「Link マーク」を示し、マークがついている場所では、問題の説明や動画、資料、シミュレーション、問題を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄に使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マテマというキャラクターを中心に、人物キャラクターも登場し、分かりやすくなるよう工夫している。</li> <li>・デジタルコンテンツが利用できるよう「Web マーク」を示し、マークがついている場所では、問題の説明や動画、資料、シミュレーション、練習問題を視聴することができる。</li> <li>・さくいん欄にふりがなをつけ、同じ意味をもつ英語表記や、使用する記号をまとめて記載している。</li> </ul> |